



犬とキャッチボール

私は、クロとクッキーととも大満足でゲームが終わるという2匹の犬とともに暮らしています。

夕食後、私たちは3人1人12匹)でよく、「お片付けゲーム」をします。ルールは簡単で、まず部屋中に私たちのおもちゃをばらまきます。私は、空になったかごを持って座って、「持ってきて〜!」と叫びます。2匹は喜々としておもちゃを持ってきてくれます。3回に1回は、持ってきてくれたお礼に、おやつをあげます。

走って取りに行ったのに、途中で放り投げて何も持たずに戻ってきたり、クッキーの取ろうとしていたおもちゃをクロが横取りしたりと、つい笑ってしまいます。場面も多いのですが、3人の時間を、「待ち」時間と

して過ごしています。ご飯を待つ、散歩を待つ、飼い主の帰りを待つ…。彼らの一生の多くは待ち時間で占められます。そんな中で、「夢中になって遊ぶ」時間は犬たちにとって、とても刺激的な時間だと思えます。

犬と楽しく遊ぶためには、ちよつとした工夫が必要です。良いタイミングで、犬が理解できる合図を出し、できたときに「それだよいんだよ」と伝えます。

より満足の寝顔

遊びで生活を楽しく

き物が、自分の言葉を理解して喜んで動いてくれる。こんな面白いことって、なかなかないんじゃないか、と思います。

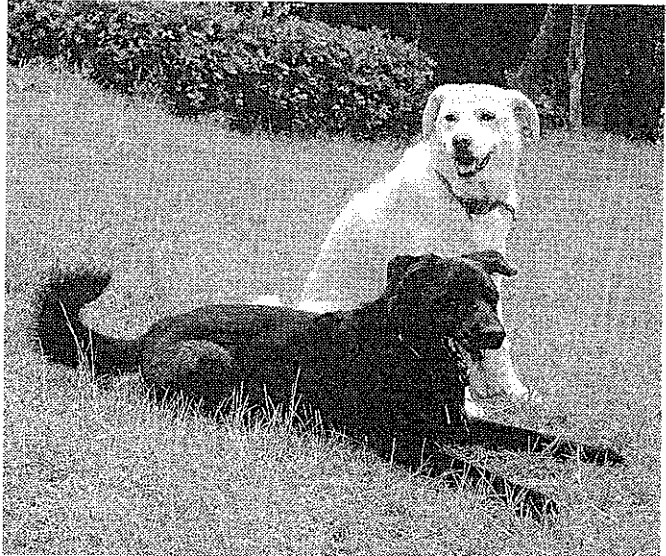
家庭犬は起きている多くの時間を、「待ち」時間と

その繰り返いです。私は、せつかく犬という生き物と生活することになったのなら、できるだけ多くの人に、彼らと楽しく遊ぶ感覚を味わってもらえればな、と思います。それは

愛さんが、犬と人との楽し

人にとって楽しいだけでなく、犬たちが人との生活を楽しむことにもなると思うからです。

× ×
ドッグトレーナーの辻村



お気に入りの散歩コースで一休みするクロ(手前)とクッキー

い関係について、つづりま
す(写真も)。



◇ つじむら・あい 大阪府出身。シリウス・ドッグトレーニングスクール(尼崎市)主任ドッグトレーナー。人と犬にやさしく楽しいトレーニングの普及をめざす。